

簡 台 会 記 録 簿

敬称略

(寺内作成)

会議名	平成27年度役員・幹事総会
日 時	平成27年4月23日 (木) 18時30分～
場 所	神戸市勤労会館 2階多目的ホール
出席者	<学校側> 清家教頭 (代理出席)、大月元校長、田阪前校長、北風 (事務局) 計4名
	<相談役> 北風
	<幹事> 横野、田辺、久下、米倉、八木、船曳、亀井、右近、水口、榊原、藤井、橋本、谷口、小泉 計10名
	<役員> 古川会長、渡部、達脇、大庭 以上3名副会長、村井、佃、石谷、坂本、黒田、進木、坂口、増田、遅、谷口、田中、寺内 計16名 *大政東京支部長含む3名欠席
議事内容	
<p>■ 議事に入る前に、司会の坂本総務担当が進行役をつとめ、①開会のことば、②会長挨拶、③出席者自己紹介、④今春卒新人幹事紹介 (欠席のため名前のみ紹介) が行われた。</p> <p>◇ 会長挨拶では、(a)幹事の意識調査、(b)どんちょうの寄贈、(c)母校の「沿革」調査と、平成26年度の取り組みの中での特徴的な内容報告がなされた。又、6月の総会・懇親会をいかに盛大にするかが、課題であるとの発言があった。</p> <p>◇ 学校側を代表して、清家教頭より、校舎の建て替えの進捗状況の報告と、在校生の学習及び部活での頑張りの報告に加えて、朝日新聞の切り抜き資料をもとに、「スーパー・グローバル・ハイスクール」関連の説明と活躍についての報告がなされた。</p> <p>以上が終了後、慣例により、議事進行役が議長の古川会長にバトンタッチされ、議事に</p>	
イ) 平成26年度会務報告総括	<ul style="list-style-type: none"> ○ 達脇副会長から、資料NO.1・NO.2をもとに、役員会開催回数及び学校行事への参加内容及び会計担当者会議開催の報告があった。 ○ 黒田総務担当から、現在校正中、5月中旬完成予定、5月下旬発送予定のスケジュールと作成部数1万500部 (前年+500部) の報告がなされた。
ロ) 平成26年度決算報告	○ 増田会計担当から、決算報告書に沿って、報告がなされた。
ハ) 平成26年度会計監査報告	○ 佃会計監査から、決算報告書が適切であったとの監査結果の報告がなされた。
	以上(イ)(ロ)(ハ)の3つの議案に対し、意見等を求めたところ、全員意義なしにより、決議にいたった。
二) 平成27年度役員(案)	○ 古川会長から、資料をもとに、平成27年度簡台会役員(案)の説明があり、審議された結果、現行案どおり決議された。若い人も役員に名を連ねることも重要であるとの意見もあり、今後の課題と
ホ) 平成27年度事業計画(案)	○ 大庭副会長から、資料に沿って報告がなされた。
ヘ) 平成27年度予算(案)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 谷口総務担当から、資料に沿って報告がなされた。 <p>(ホ)(ヘ)の2つの議題に対し、審議を求めたところ、質問及び意見が交わされ、具体的な行事に対する意見もあった。それに対して、古川会長より、学校側とも十分協議することが大前提であること。又、躍進する母校と歩調を合わせながら、役員一同、日々精進していくこと。そして、幹事に対しての、さらなる協力要請の発言の後、全員の総意で原案が承認され、決議された。</p>
6. 本年総会について	
イ) 開催場所と内容について	○ 黒田総務担当から、資料に沿って説明がなされた。
7. 閉会の辞	○ 古川会長から、幹事に対し、気づいた点を日頃から連絡していただき、相互に「きずな」を深めて、母校支援に協力願いたいとの言葉で締めくくり、幹事及び学校側から拍手をもって終了となった。

以上